



恵まれた自然環境の中で生きがいと潤いのある生活を！

施設長挨拶



早くも5ヶ月が経ちます。

私は、平成29年7月16日に、施設長を拝命いたしました。

これまで、広島市西区長、安佐動物公園長、広島観光コンベンションビューロー専務理事を歴任後、4月から3ヶ月半自由人として過ごしていました。

これまで高齢者福祉に携わることのなかった私としては、この3ヶ月がとても有意義な時間となりました。

社会福祉、介護等に関する書物を読み勉強する時間があつたことです。

この経験から、最近ではローギアからセカンドギアにて運行できるところまで来たように思っています。

当特別養護老人ホーム和楽荘は、昭和55年創業後、平成28年12月に5階建ての新しい施設に生まれ変わりました。

2階には、素晴らしい地域交流室も設置されています。

特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業部、通所介護事業部、訪問介護事業部、居宅介護センター、広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センターと様々な事業に取り組んでいます。

8年後の2025年には、団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者となり、日本は5人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上という超高齢化社会に突入することが見込まれています。

要介護者も大幅に増えると予想され、大量介護への対応が必要な「2025年問題」が迫っています。

現在では、介護人材不足が喫緊の課題となっています。

介護人材を確保するため労働条件の改善や働き甲斐を得られやすい職場づくりなどに取り組んでまいりたいと思っています。

さらに、国においては、平成30年度の介護報酬改定が議論されており、かなり方向性が見えつつあります。

事業者の持続可能性を考えた報酬設計とし、サービスの質の向上、従事者の処遇改善も継続できることを切に願うものです。

また、仕事の進め方において重要な要素として「PDCA」があげられます。

介護現場では、まさに「PDCA」が実践されているものと思うとともに、ぜひともそうあるべきものと期待しています。

今後とも少子高齢化社会で求められている施設である事を肝に銘じて、入居者・利用者皆様の介護と生きがい支援、さらに地域に愛される施設をめざして職員一同尽力してまいります。



施設 外観



施設 玄関

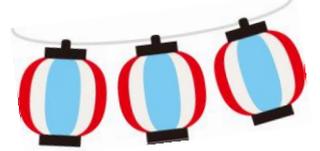


社会福祉法人和楽会
特別養護老人ホーム和楽荘
施設長 増川 一幸

特養



2年ぶりの夏祭り



新施設で初めてとなる夏祭りが開催されました。
突然の大雨にも負けない熱気で、大盛り上がりの夏祭りとなりました！
下河内神楽団の皆様には、ド迫力の神楽を披露していただきました。
会場が一丸となって、大蛇をやっつけます！！
入居者様は皆様大満足のご様子で、とても楽しんでおられました。
そして伴児童館フラダンスクラブの皆様は、素敵なフラダンスを披露してくださいました。
子どもさん達からは「長生きしてね」という言葉をいただき、また入居者様からはお礼に【ご長寿パワー】のおすそ分けです。
皆様のご協力により、笑顔いっぱいの夏祭りを行うことができました。

敬老祝賀会



9月10日に敬老祝賀会を行いました。
入居者様は素敵なお洋服に着替えられ、お化粧品もされて、皆さんとてもお洒落です。
県議会議員の河井 あんり様にご挨拶をいただき、民踊広島美寿保会めぐみ支部の皆様には美しい踊りを、そして第一タクシー株式会社の皆様には楽しい演芸をご披露いただきました。
日頃の感謝の気持ちと皆様の健康を願って、昼食にはお祝い膳をご用意しました。
伊藤理事長に乾杯に始まり、ビールやジュースを飲みながら、ゆっくり食事を楽しまれました。
多くのご家族様に参加していただき、大変にぎやかな敬老祝賀会となりました。
皆さま、ご長寿おめでとうございます。これからもお元気で過ごしてくださいね。



ユニット型特養の暮らし



ユニット型特養になり、1年が過ぎました。
新しい施設では、入居者様が行きたい時にトイレに行ける、自分のペースで食事が出来るなど、より“その人らしい”生活へと近づくことができ、サービスの向上へと繋がっています。
これから、さらにユニット型特養の長所を生かし、生活の中で一緒に笑ったり、楽しんだりする時間を増やせるよう、がんばっていきたいと思っています！



デイサービス 夏祭り

8月4日～5日にかけて、デイサービスでも夏祭りを開催しました！
ヨーヨー釣りや金魚すくいなど、お祭りならではの遊びを堪能し、かき氷やベビーカステラなど、昔懐かしい味に子供時代へタイムスリップしたイベントは、ご利用者様にも大変好評でした！！



「月間デイ」の“自慢のレク・クラフト大集合”
に応募し、2015年度の優勝、2016年度の
準優勝に続き本年度も入賞しました！

3年連続の快挙です！！

入賞作品は「月刊デイ」9月号に掲載されました。
この作品は、旧和楽荘取り壊しに際し思い出の詰
まった建物へ感謝を込め、旧和楽荘をモチーフに
卵の殻などの身近な物を活用して作っています。
沢山の出来事を振り返り、思い出を語り合いなが
ら4ヶ月間みんなで楽しく作業を行いました。



『こんなサービスのある時代で本当に良かった』と、いつも言葉をかけて下さるご利用者様。

でもそんな良き時代を築いたのは、紛れも無く利用者様たちの世代であり、皆様が育てた子供達です。

皆様とのご縁をいただき、本当に嬉しく思います。

これからもどうぞお元気で、和楽荘にお越しくださいね。

100歳、おめでとうございます！！！！



広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター



小田 尚センター長 挨拶

「地域の皆様と手をつなぐ、地域包括支援センター」をコンセプトに、住民の皆様や介護サービス事業者の方々が立ち寄りやすいような明るい雰囲気の仕事所作りを心掛けています。またスタッフ一同、これからもどんどん地域に出向いてまいりますので、お気軽にお声かけください！



地域包括支援センターでは、介護予防への取り組みに力を入れています。年を重ねても住み慣れた地域で自分らしくイキイキと生活していけるように、様々な事業の立ち上げを行っております。

その中で、平成29年9月25日に下伴集会所にて、高齢者のグループ『さわやかサロン』主催で、生き生き100歳体操を行いました。ただ筋力向上といった体操をしても続かない…。そんなご意見を受けて、理学療法士が考案した、計算つくされたこの体操を行うことで、参加者の皆様に心地良い疲労感をもたらすと同時に、弾ける笑顔が印象的なひと時を過ごしていただくことが出来ました。

今後も、地域の皆様とともに…住みよい活気のある、戸山・伴・大塚を目指して、取り組んでまいります。



居宅介護センター和楽荘では、要支援・要介護状態になり在宅で生活をされている、ご利用者様・ご家族様を支援させていただいております。平成29年9月27日には、今年度の広島市からの受託事業である「家族介護教室」を開催いたしました。

今回は認知症ケア専門士 佐々木 新氏を講師にお招きし、「認知症における家族や地域の困り事のヒント」と題し、地域の皆様やご家族様と一緒に、認知症における様々な疑問や悩みを考える場となり、また在宅介護中のご家族様同士が交流できる、良い機会となりました。

自宅での介護は辛く、孤独を感じてしまうとの声を耳にします。

私たち介護支援専門員は、ご利用者様ご家族様と誠意を持って向き合い、共に考え、より良い在宅生活を支援させていただくために、日々学び、自己研鑽に努めてまいります。



居宅介護センター



山田 道枝主任 挨拶

私たちは、地域に根差した居宅介護支援事業所として、ユーモアと若いパワー溢れる女性6名の介護支援専門員が、毎日高齢者やご家族の家に訪問させていただいております。

居宅介護センター和楽荘への地域ニーズや満足度が高まるように、これからもがんばっていききたいと思います。



平成 28 年度事業報告

事業の展開

- ① 運営方針（①利用者の処遇向上、②社会経済情勢の変化に対応、③地域との連携、④採算性の確保）に基づき、業種別事業計画を策定し、事業の推進を図るとともに、健全経営に努めた。毎年に入所者、利用者の高齢化・重度化の進行は顕著で個別指導計画を策定し処遇に努めた。
- ② 新施設完成に伴い、平成 28 年 12 月 1 日からユニットケアシステムなど、新しい形で利用者の介護を行うことになった。
- ③ 新施設完成後、旧施設の解体及び駐車場の整備を行った。
- ④ 平成 29 年 4 月 1 日から施行される社会福祉法人改革に向けて、定款の変更及び評議員の選任の準備を行った。
- ⑤ 平成 29 年 4 月 1 日から実施される介護予防・日常生活支援総合事業に向けての準備を行った。

事業活動計算書

自平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日

(単位:円)

勘定科目	決算
サービス活動収益計	454,855,531
サービス活動費用計	425,697,712
サービス活動増減差額	29,157,819
サービス活動外収益計	6,608,018
サービス活動外費用計	25,192,061
サービス活動外増減差額	△18,584,043
経常増減差額	10,573,776
特別収益計	1,183,095,701
特別費用計	1,284,963,627
特別増減差額	△101,867,926
当期活動増減差額	△91,294,150
前期繰越活動増減差額	1,100,363,983
次期繰越活動増減差額	1,009,069,743

収支計算書

自平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日

(単位:円)

勘定科目	決算
事業活動収入計	463,423,623
事業活動支出計	389,714,735
事業活動資金収支差額	73,708,888
施設整備等収入計	402,248,560
施設整備等支出計	1,012,019,697
施設整備等資金収支差額	△609,771,137
その他の活動による収入計	601,084,280
その他の活動支出計	603,926,533
その他の活動資金収支差額	△2,842,253
当期資金収支差額合計	△538,904,502
前期末支払資金残高	955,385,409
当期末支払資金残高	416,480,907

貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

勘定科目	決算
資産の部	
流動資産	475,861,339
固定資産	1,250,369,388
基本財産	813,708,232
その他の固定資産	436,661,156
資産の部合計	1,726,230,727
負債の部	
流動負債	77,006,432
固定負債	390,195,400
負債の部合計	467,201,832
純資産の部	
基本金	234,768,000
国庫補助金等特別積立金	2,191,152
その他の積立金	13,000,000
次期繰越活動増減差額	1,009,069,743
次期繰越活動増減差額	1,009,069,743
(うち当期活動増減差額)	△91,294,150
純資産の部合計	1,259,028,895
負債及び純資産の部合計	1,726,230,727

○ 平成 28 年度、社会福祉法人和楽会への苦情は、ヘルパー、事務所、特養、1 件ずつ、居宅 2 件の合計 5 件ありました。

各部所にて会議を開き、今後改善するよう職員に周知徹底しました。

○ 事業報告等の詳細については、独立行政法人福祉医療機構（ワムネット）のホームページより、社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムウェブサイトにて公表しております。



祝！ひろしまケアコンテスト優秀賞受賞！！

11月19日に第4回ひろしまケアコンテストが、広島県立広島産業会館で開催されました。広島市内の福祉施設職員が、日頃の業務で培った介護技術を発表し、その技術の高さや専門性を競うコンテストです。このコンテストに和楽荘職員2名が参加し、中井介護職員が「排泄ケア」部門で、見事優秀賞に輝きました！受賞の決め手は「笑顔と温かさ」だったそうです。この受賞をきっかけに、さらに和楽荘全体の介護技術を高め、より良いケアの提供に繋がるよう励みたいと思います



短期入所生活介護事業部



短期入所生活介護（ショートステイ）は、主に自宅にて介護をされている家族様の介護負担の軽減、旅行・冠婚葬祭等やご利用者様の気分転換など、様々な理由での一時預かりのご利用を支援させていただいています。住み慣れた場所と違い、環境が変わる事への不安が、ご利用者様・ご家族様ともありますが、そんな不安を吹き飛ばすように和楽荘のショートステイでは、毎日元気に体操や季節の歌を歌ったり、趣味活動を行うなど少しでも心地よく、安心して笑顔で過ごせるように取り組んでおります。ショートステイで過ごす時間は、ご利用者様によって様々ですが、それぞれが歩んでこられた生活歴や、性格、趣味趣向などしっかり情報収集を行い、その方に合わせた対応が出来るように、スタッフ一同で支援させていただいております。

『広島県民体操第0』を、ご利用者様と取り組んでいます。相談員・スタッフの元気な笑顔と声掛けに、ご利用者様の笑顔が溢れる楽しい時間です♪

ご利用者様からの「また来るよ」その言葉が何よりも嬉しく、励みになっています。在宅介護は、時に辛く、孤独になります。そんなご家族様のお気持ちに寄り添い、悩みを共有し、つかの間の休息の中で、心が元気になるように…一緒に支援させていただきたいと思っております。

編集後記

新施設になって、もうすぐ1年になります。7月には、新施設長を迎え、新しくなった施設と同様に、和楽荘内もどんどん変化をしているように感じます。皆様に、新しい和楽荘の様子を少しでも多くお伝えしたい！！和楽荘をもっと知っていただきたい！和楽荘にもっともっと来て欲しい！！そんな職員の熱い想いが詰まった、「和楽荘だより42号」をお届けします。ご覧になった感想など、お聞かせいただけましたら、幸いです。



一緒に料理を作っています♪



訪問介護事業部

訪問介護事業部は、在宅で生活するうえで必要な、主に【掃除・食事・買い物】等の生活支援や、【服薬介助・排泄介助・デイサービスの送り出し】等の身体介護支援を行っています。認知症となった一人暮らしの高齢者や、老老介護の夫婦、家族の介護負担の軽減等、様々な利用者様の生活に合わせて、支援させていただいています。認知症の一人暮らしの女性A様の自宅へ週に一度、一緒に炊事や掃除洗濯などのサービスに入っています。ヘルパーの顔を見ると、とても安心した表情をされ「待ってたよ～」と声をかけてくださるA様。日常生活において段取りが難しくなっており、時折不安な表情をされるA様ですが、ヘルパーと一緒に料理を作り始めると、途端に和らいだ表情になり、冗談を言いながら和やかなひと時となりました。和楽荘のヘルパーは「生活に密着し、心に寄り添い、笑顔のケア」をモットーに、日々車を走らせ奮闘しています。お一人でも多くの利用者様が、住み慣れた自宅で安心して笑顔で暮らしていけるよう、支援してまいります。

和楽荘 電話(代)082-848-5000 お気軽にご相談ください

個人情報の取り扱いについて…個人情報保護法に基づき適正な取り扱いをしております